

互換島『イゾレッタ (Isoletta)』シリーズ

スマート機時代の新たなスタンダードに

柔軟性と効率性を追求したエース電研の互換島『イゾレッタ』シリーズ。新時代の標準設備として着実に導入店が増加している。



営業本部本社営業部開発課
薩摩泰友課長代理

部品の高さを調整して転換する独自の仕組みを採用することで、簡単な作業を実現（※次ページ参考写真）。慣れればわずか数分で完了するので、現場スタッフでも対応できる。

遊技機入替作業をスムーズに行える遊技機固定器具『大工マン』の装着も可能だ。簡易なPSの互換性を損ねることなく、入替作業の負担を軽減できる。

また、『イゾレッタ』は玉補給ユニット『SCMR16』を装着するだけでP機運用が可能な構造にある。これは他社にはない同社独自の強力な差別化要素だとい

今のホール経営を取り巻く環境は、スマート遊技機登場以降、かつてない大きな転換期を迎えており、市場の急激な変化に対応するため、設備にも「柔軟性」と「効率性」が求められている。

この市場要請に応える最前線のソリューションとして開発されたのが、エース電研の単体島『イゾレッタ』およびスマート遊技機専用単体島『同EX』。PSの相互転換を極めて簡易に行える「可変構造」と、革新的な「省スペース設計」を両立させ、限られた空間を活用しつつ、市場変動に即応する営業戦略を支えている。

現場完結型の「数分」転換システム

最大の長は、大掛かりな工事を伴うことなく、現場で簡単にPS転換できる点だ。

例えば、『イゾレッタEX』は、

Isoletta 従来の遊技機とスマート遊技機を設置可能

SCMR16 単体研磨機

SCMR16玉の流れ

専用鍵

遊技機ユニットへ玉を補給し、アホ玉を下部タンクへ戻します。

研磨力セット

研磨力セットはワンタッチで交換可能です。

研磨力セットを左右の方向に押し込んでロッドレバーで固定するだけです。

研磨力セット

下部タンクからの玉を研磨力セットで研磨し、玉漏しパイプで専用機へ戻ります。

駆動装置

・パワフル向上！1000個/分(60Hz)

・1年間布交換不要！(6万個循環/日)

各台計数機仕様

IsolettaEX スマート遊技機に最適な構成

EX 単体島枠

簡単PS互換

ユニット部はそのまま。遊技機枠内部品の組替えて簡単にスマパチやスマスロの変更ができます。

組替

640

500

えるだろう。

そして、島移動を考えていない店舗や、コストを抑えたい需要への対応として、単体島でなく、通常島でスマート機の簡易な互換性を実現した『スマート互換島』もラインナップされている。

業界トップクラスの奥行き「259mm」

加えて『イゾレッタ』『同EX』は、奥行きわずか259mmという極めてスリムな設計になっている点も強みだ。それにより、

これまで設置を諦めていた狭小通路や、休憩所の一角など、デッドスペースとなっていた空間への増台を可能にした。この増台対応力は床面積の有効活用と収益機会の最大化に寄与している。

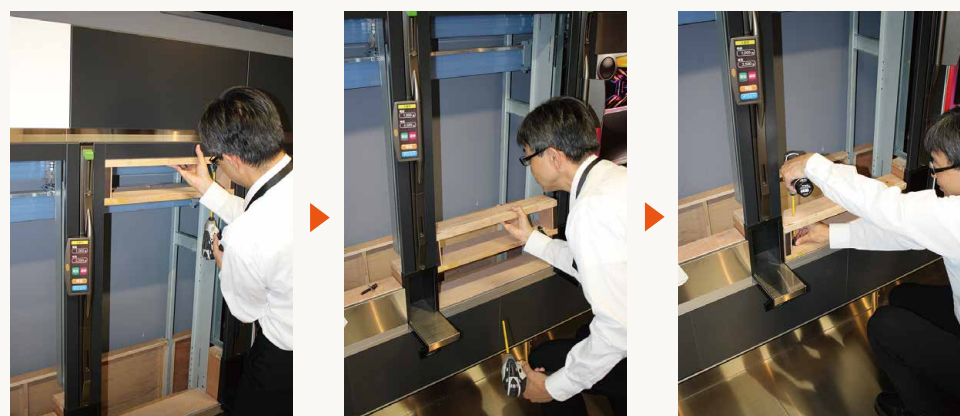
ど強度の確保が難しくなるが、同社は、東日本大震災クラスの揺れを再現した実証試験を経た設計。同社営業本部開発課の薩摩泰友課長代理も、「このサイズで強度を維持するのは決して簡単ではありません。スペースの制約で増台を諦めている店舗様でも、安心して活用頂きたいですね」と堅牢性に自信を示す。

再利用・移設による柔軟な資産活用

経済的メリットは他にもある。別店舗への移設や再利用が容易な点だ。すでに一部チェーン店では、使っていた単体島を、別の店舗へ移設するケースが生じており、柔軟な資産活用の観点から高い評価を得ている。

いずれにせよ、市場環境の変化に合わせた柔軟な島編成に込める『イゾレッタ』シリーズが担うのは、経営の選択肢と資産価値を最大化する「戦略ツール」としての役割。現在の市場環境において、最も戦略的な設備投資の一つであるといえそうだ。

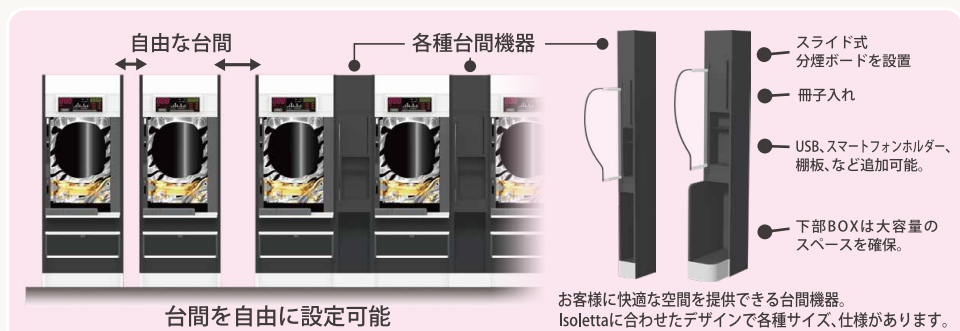
■スマスロからスマパチへの転換手順



上部のカバーを専用キーで外した後、2箇所ビスを外し箱型の部品を下げて固定するだけ。これらの作業は、ものの数分で完了。特別なスキルも不要だ。また、狭い空間でも作業ができる点も特徴となっている。

Point! 既存島への増設対応、自由な台間

既存島の延長は、両端にIsoletta+SCMR16を増設するだけで簡単に延長できます。



地域一番店が描く次世代のホール設計

快適性と効率性を両立する次世代互換島「イゾレッタ」。導入現場が語る新たなホール設計の可能性とは。

個室感と存在感を 両立した島設計

愛知県南部・知多半島エリアは、古くからパチンコ激戦区として知られる。近年、中小店舗が淘汰される一方で、激しさを増しているのが、巨艦店同士の争いだ。その環境下で高稼働を維持し続けているのが、パチンコ673台、パチスロ727台の計1400台を擁するオーギヤ運営の旗艦店《オーギヤタウン半田店》。そんな全国屈指の稼働率を誇る同店が将来を見据えて選択したのが、エース電研の互換島「イゾレッタ」シリーズだ。

導入のきっかけは、パチンコフロアにおける「他店には無い存在感のある島を作りたい」という発想だった。

もともと同店は、台間を広くとり、ひじ掛け付きボードで個室感を演出するなど、快適性と上質感を重視した空間設計を志向。その延長線上で、まずは、パチンコ・パチスロ両方に対応できる89台分の単体互換島「イゾレッタ」を採用した。互換構造を備えながらも、パチンコ島ながらR島や円形島など特徴的なデザイン性を実現した格好だ。

また、計画当時はスマパチの普及が不透明であり、いざとな

れば従来のパチンコ機も使える安心感も採用した理由の大きな一つだったとのこと。さらには、160台分の通常島でスマート機の簡易な互換性を実現した「スマート専用互換島」も導入する

など、PS比率を臨機応変できる設計が施されている。この柔軟設計により、エリア需要や市場動向に応じた機種転換を迅速に行える体制も整えている。

柔軟運用を可能にする 「互換」という選択肢

導入最大の効果は、空間価値の向上にある。来店客から「居心地が良く他店では打てなくな

る」との声も多いという。高い天井と広い台間が生む解放感は、同店のブランドイメージを支える重要な要素となっている。

また営業面でも、オープン時から掲げてきた「4円パチンコに強い店」というコンセプトが定着。週末には稼働率で全国上位に入る日もあるという。

オーギヤグループ第一営業部の矢田祥貴マネージャーは、「今回、単体互換島のおかげで、すぐインパクトのあるレイアウトを実現できました」と高評価。そして、「今後も安心と信頼を高めていく営業を続けていきます」と、引き続き同店のロイヤリティ

を向上させていきたい考えだ。

今回の「イゾレッタ」シリーズの導入は、単なる島の導入に留まらず、スケールメリットを活かした柔軟性、効率性、快適性を具現化した格好となった。来るスマート時代に向け、理想的なモデルケースとなりそうだ。



R島を組み合わせで構成されている特徴的な同店のパチンコ島。単体互換島「イゾレッタ」だからこそ可能なレイアウトだ。



《オーギヤタウン半田店》
愛知県半田市乙川吉野町43
総台数：1,400台（P673台、S727台）



通常島ながらスマート機の簡易な互換性を実現した「スマート専用互換島」も160台分導入されている。



オーギヤグループ第一営業部
矢田祥貴マネージャー